

要予約 無料法律相談
11月20日(木)10時半~12時
●担当／山口第一法律事務所
田中 礼司 弁護士
12月16日(火)14時~15時半
●担当／山口第一法律事務所
横山 詩士 弁護士
●場所
生協ふれあい会館2階「相談室」
☎0836-34-2510



●発行 医療生活協同組合健文会
●発行責任者 専務理事 山村 義晴

医療生協健文会現勢 2025年9月30日現在
●組合員 18,796人
●出資金額 604,095,000円
●平均出資金額 32,140円
●支部数 23支部
●登録班数 159班
住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十日山町16-23
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp>

定款地域(活動する地域) ... 山口県全域

楽しんで、つながろう！ひろげよう！ともにつくろう協同の「わ」 25年度 健文会・生協強化月間スタート！ 前半

第1・2ブロック（宇部・山口・防府）スタート集会

第3ブロック（山陽小野田・美祢・下関・厚南）スタート集会

10/9 エリア別訪問行動
上宇部クリニック

10/2 エリア別訪問行動

病院「組合員コーナー」

10月より生協強化月間が始まりました。今年のテーマは「楽しんで、つながろう！ひろげよう！ともにつくろう協同の“わ”」です。

第1・2ブロック（宇部・山口・防府）は9月26日にスタート集会を実施し、第3ブロック（山陽小野田・美祢・下関・厚南）は10月2日、下関支部は10月13日にそれぞれスタートを切りました。支部と事業所から参加があり、現在の状況や月間目標までの意気込みなどをリレートークしました。

10月1日から病院「組合員コーナー」が再開しました。来院患者様と地域組合員が「ひさしぶりだね、元気にしてた？」と会話する様子が見られ、署名や増資の協力もありました。また、10月2日からエリア別訪問行動も開始し、職員組合員

と地域組合員が協力して事業所周辺地域を訪問し、地域の方と対面する機会を広げています。各支部でも地域でのあらたなつながりづくりを着々と進めています。

そして10月18日には生協学校があります。協同組合が大切にする価値と意義を学びます。

11月もまた全国4課題8割達成にむけて、ともに力を合わせて取り組んでいきましょう！11月16日には「健康まつり2025」が開催予定です。

いのちを守る緊急行動の署名と、STOP介護崩壊の署名も継続しています。地域医療を守るためにには皆さんの声が必要です。ご協力お願いします。

インフルエンザワクチン 予防接種が始まっています

インフルエンザの流行に備え、10月より各市町で予防接種が始まっています。

インフルエンザワクチンは、重症化の予防に有効とされています。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、早めの接種をご検討ください。詳細については各市町ホームページまたは最寄りの健文会の事業所のホームページ（宇部協立病院、生協上宇部クリニック、生協小野田診療所）でご確認・お問い合わせください。

*健文会の事業所において実施するコロナワクチン予防接種については
詳細が確定次第、ご案内します。

<料金>

年齢	公費負担	料金（税込） (インフルエンザ)
64才以下	なし	医療生協加入者
		¥2,600
65才以上 (宇部市)	あり	医療生協未加入者 ¥3,600
生活保護世帯		64才以下…組合員¥2,600、未組合員¥3,600 65才以上…無料

* 64歳以下の場合は当法人内の価格設定となっています。他の医療機関と価格が異なる場合があります。

* 65歳以上の場合は市町村によって金額が異なる場合があります。

宇部協立病院 外来医事課 吉田 和広



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています

Cooperatives Build a Better World. 2025 International Year of Cooperatives



（防府支部
支部長 吉本和人）

9月19日（金）防府市スポーツセンターにおいて、2班合同の健康教室と「医療生協を知る会」を開催しました。大きな鏡張りのトレーニングルームで40分間思いきり体を動かしたあと、別室に移り、未組合員2名と、新加入の方7名を含む、計17名の参加で約1時間の「知る会」を行いました。

防府支部では、新加入の方には「知る会」に参加して生協について学んでいただくという方針の会もとに生協を知る会を開催しています。DVD健文会50年の歩みの視聴、支援部作成の資料を使っての説明のあと、参加者同士の自由な発言、最後に運営委員の紹介がありました。

会の終了後、未組合員2名が加入を約束して帰られました。これからも医療生協の理念を知りたいことを大切にしながら防府支部の活動をすすめています。



「医療生協を知る会」開催

防府支部

日本母親大会に参加して

第70回日本母親大会が9月28日、29日に東京で開催されました。私は17分科会「地域とともに生きる-市民を主人公に」に参加。予定は180人まででしたが追加の椅子が必要なほど大盛況な分科会でした。5つの指定報告があり、印象に残ったのは東京清瀬市の「図書館をなくさない」でした。市内6つの図書館のうち、老朽化を理由に十分な住民への説明や相談もなく4つを廃館することに決まり、住民投票条例を作るための署名活動を行いましたが議会で否決。運動の中で「図書館をなくすな」のポスターを街に貼り出し、新しい人たちが運動に参加。署名活動も盛んで市民を巻き込んでの運動になり、4つのうち1つは存続。声をあげることの大切さを実感する市民運動の報告で元気をもらいました。（生協小野田診療所 友永 理香）



山口宇部空港の「特定利用空港」指定を知事が受け入れ 寄稿②

山口県議会議員 藤本一規

私は、初当選した1999年9月県議会で、1993年、米軍ヘリコプターが山口宇部空港に着陸した問題に関し「山口宇部空港を軍事目的で使用させないことを県民の前で明らかにすべき」と質しました。当時の土木建築部長は、「山口宇部空港は、軍事目的での使用は想定していない」と答えました。私は、9月県議会で、「県が、特定利用空港を受け入れたことは、『山口宇部空港は軍事目的での使用は想定していない』との県議会答弁を撤回するのか」と質しました。土木建築部長は「撤回は考えていない」と答えました。県は、「山口宇部空港は軍事目的での使用は想定していない」の見解を堅持するのなら、特定利用空港指定受け入れを撤回すべきです。

小野田南支部 動物ラブ班会



9月6日、今回は7人で「猫カフェ」に行きました。おいしいランチを頂いたあと、保護猫ちゃんとふれあいました。不幸な猫を増やさないよう、ぜひ保護猫を迎えてほしいです。

地域フラッシュ

上宇部川上支部 健康チャレンジ特別企画



9月19日、上宇部ふれあいセンター別館2階で、岡村監事による「マイクロプラスチック問題」の学習会をしました。16人の参加があり、「難しかつたけど、資料を読み直して生活を見直してみる」という声や、「自分には関係ないとは思わず、未来の子どもたちにと言わわれたら考えるようになった」という声がありました。

山陽支部 手配り交流会



9月27日、年に一度の手配り交流会で最初に「マイクロプラスチック」について岡村監事の学習会があり、その後は手配りの中を考えていることなどを話し合いました。手配りの時間を楽しみながら過ごしておられる声があり、心を動かされました。

上宇部クリニック・琴芝支部合同 JAまちかど健康チェック



9月26日、JA宇部新鮮館前で実践し、あいにくの雨模様でしたが、20名の参加がありました。上宇部クリニックの看護師、事務職員、琴芝支部組合員が参加し、検診受診などの呼びかけなど行いました。

**私の職場 リハビリステップげんき
紹介㉕ 通所介護・
介護予防通所介護事業所**



リハビリステップげんきは、生活リハビリを中心に、段階（ステップ）を踏み、楽しみながら目標達成することをめざしています。「ここにきて良かった」「今日も1日楽しかった」と毎日が笑いであふれ、心が晴れるような場所を提供できるよう、スタッフ一同全力でおもてなしさせていただきます。

持病のある利用者様も安心して過ごせるよう、病院や訪問看護ステーションと連携しながら対応しています。

2025 国際協同組合年 (IYC2025)

シリーズ7 学ぶ 実践する 発信する

協同組合はよりよい未来をつくります

これまで『ICA協同組合原則』を紹介しましたが、今月は日本のお話です。7月5日に開催されたシンポジウム「持続可能な暮らしのために、先人から学び、未来へつなぐ～協同組合の父 賀川豊彦とSDGs～」(IYC全国実行委員会主催)から、賀川豊彦を紹介します。

だれ一人取り残さない～SDGsの理念と重なる実践

賀川豊彦（1888-1960）は「日本の協同組合の父」と呼ばれる人物です。幼い頃に孤独や苦しみを経験し「貧困と苦しみ」に関心を寄せてキリスト教の牧師となりました。「人々の痛みを知るために、同じ場所で生きることが必要だ」との信念のもとスラム街に住み、貧困の原因が単なる怠惰ではなく社会の構造そのものにあることを痛感します。「仕事を求めて雇用が安定しない、病気になってしまって医療を受けることができない、教育を受ける機会がない——こうした問題が貧困の連鎖を生み出している。人々を本当に救うためには、信仰だけでなく、社会全体の改革が必要だ」と考え、具体的な支援活動～労働運動、教育・福祉活動、協同組合運動、平和運動など多岐にわたる～を展開しました。「だれ一人取り残さない」という理念は日本の協同組合のはじまりにすでに息づいていたのです。



介護事業所
DIARY

リハビリステップげんき

「笑うこともリハビリ」敬老会で笑顔あふれる一日

9月12日、ご利用者様の長寿のお祝いに敬老会を行いました。「笑うこともリハビリ」という考え方から、今回は「どこまで笑っていただけるか？」をテーマに職員一丸となって取り組みました。まずは当日最高齢98歳の利用者様によるテープカットでスタート。職員による手品、二人羽織なども披露しました。「普段の職員さんとはえらい違いじゃね」と利用者様の笑いを誘いました。



▲テープカット



▲手品



▲BINGO



▲二人羽織



理事会だより

第3回定例理事会を9月27日（土）14時～16時55分で開催した。

■法人運営・承認・決済事項

① 2025年度の協立こぐま保育園「みらい広場」への委託料を「330万円（非課税）／月額」から「377万円（非課税）／月額」に増額（変更）する件を承認した。（さらに本年4月に遡って増額差額分が入金されるので、委託料も遡って変更する）

② 下関に9条の碑を建てる会～進捗状況の報告を受けた。次回は10/18に実行委員会を開催、カンパ集約は現状140万円。その内、約110万円は石碑代となる。石碑は10月末までに完成させて、11/3（月・祝）除幕式を開催予定。

③ 宇部協立病院が9/11に「JCEP訪問調査」（卒後臨床研修評価機構が研修医について評価をするもの）を受けた。

④ 「育児休業法・介護休業法改正」への対応について（主に育児休業）10/1～の施行にあわせ、健文会としての対応方法について提案され、確認した。

⑤ 2025年度「健文会・生協強化月間」について、今後予定されている「3つの月間スタート集会」、「エリア別訪問行動」、「10/18（土）生協学校」、「11/16（日）健文会・健康まつり2025」の準備状況などが報告された。

■報告事項

・2025年8月度の経常利益は△125万円の赤字（予算比+23万円、前年比△118万円）でした。5か月累計は+4,059万円の黒字（予算+213万円、前年比+4,105万円）となった。



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています

Cooperatives Build a Better World. 2025 International Year of Cooperatives

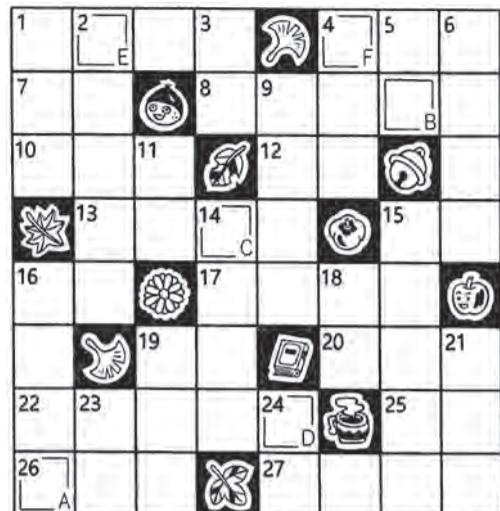
【ヨコのカギ】

- アメリカ49番目の州
- 西の市の縁起物
- 干すと甘くなる……柿
- ツルやツバメは……
- ……蛾。……剤
- 「青春の……」。「星のワルツ」
- 異常発熱を引き起こす…配線に注意
- 釣り……。クモの……
- ……ホルダー。……ワード
- 電子メールで、表情などを表現
- 手術のことです
- 優勝……。……麺
- 先に立って導く人
- フランスの首都
- ……ガラス。……玉
- 木の年齢が分かります

【タテのカギ】

- オットセイは……科
- 昔は恋文と言いました
- 取らぬ狸の……算用
- 馬の毛色の名前
- 目は心の……
- パソコンの文字などを削除する……キー
- 海水面の異常に上昇と高い波
- ノアの……舟
- 伴奏なしで歌うこと
- 強情っぽりとも言う
- 啄木鳥って読めますか
- 代表的なコーヒー豆
- 十八番
- 洋風の蒸し菓子
- ニラは……科植物
- コメのなる作物

クロスワードパズル



【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

●9月号の答え

コウレイシャ

9月号当選者（応募35通、正解35通）

山陽小野田市中川 松尾美津子さん
山陽小野田市山野井 古賀 剛さん
下関市岬之町 藤井典子さん
山陽小野田市高千帆 山近 舞さん
宇部市明神町 河重正夫さん
宇部市昭和町 坂田満穂實さん
宇部市昭和町 福田静枝さん
山口市吉敷佐畠 藤原多美子さん

おめでとうございます！

応募方法

答え、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事、ご意見ご感想など、ひととこと下さる。ご意見ご感想は、掲載させていただくことがあります。ご了承下さい。

- 当選者に薄謝 8名様分
- 締切：2025年11月末日 ●発表：2026年1月号にて
- あて先：〒755-0005 宇部市五十日山町15の7の1 健文会「ひろばクイズ係」まで
FAX：0836-34-2512
メール：sosiki_kenbun@yahoo.co.jp

病院給食紹介

当院は1日約350食調理しています。給食業務の全面・一部委託率が約70%にのぼる中、当院は直営を維持しています。

直営ならではのこだわり

- ハンバーグ、コロッケ、デザートおよび飲み込みやすいムース食は手作りで提供



ハンバーグのみ エネルギー：265kcal、たんぱく質：15.4g、塩分：1.4g

お米2合カンパ募集中

日頃からお米カンパ運動にご協力頂きまして、ありがとうございます。おかげ様で食材支援を通して、困窮している方々にお配りすることができました。毎月70キロのお米を要します。お米高騰の時期ではございますが、引き続きみなさまからのご協力をお願いします。

組合員のみなさんへお願ひ

氏名、住所、連絡先変更などは必ずお知らせください。

「健康アドバイスコーナー」の質問を募集中！

下関市唐戸町 塩田美智子さん 年に一度の健康診断を受けましょうの記事を読みました。昨年受けて自覚症状がありませんでしたが、肺活量測定器で少し喘息傾向にあるとの診断を受けました。吸入器の処方を受け大至らずありがたいです。今年も健診を受けます。

組合員の声

【山口市小郡下郷 又野恭子さん・83歳】 大変な世の中になりました。矛盾の噴出。人と子供を大切にしない社会はいつかダメになります。防衛予算8・8兆円とか…。『9条』

【下関市豊浦町 片山房一さん・72歳】 妻がクイズを解いていたのにそのまま放置していました。代わって密かに応募します。当選しないかな。

【宇部市西梶返 桂加代子さん・77歳】 10年前に外科に入院することがあり、とても親切にしていただきました。最近ひざの痛みがあり、『転ばぬ先の杖』と杖を使うようになります。なかなか時間が取れずにいます。毎月健康のひろばを配ってくださりありがとうございます。

【下関市豊浦町 片山房一さん・72歳】 10年前に外科に入院することがあり、とても親切にしていただきました。最近ひざの痛みがあり、『転ばぬ先の杖』と杖を使うようになります。なかなか時間が取れずにいます。毎月健康のひろばを配ってくださりありがとうございます。

職員募集！

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる仕事を一緒に！

医師・看護師・薬剤師・歯科衛生士・介護福祉士・看護補助者・ケアマネジャー・事務職員・非常勤調理員など募集集中です。

詳しくは医療生活協同組合健文会 総務部へお尋ねください。

電話：0836-33-6644



「健康のひろば新年号」に掲載する作品を大募集しています！

新年号に掲載する作品を募集しております。組合員の皆さんからの作品をお待ちしております。

応募締切：2025年11月25日(火)まで

応募先：sosiki_kenbun@yahoo.co.jp

こちらのQRコードを読み取ると公式LINE（毎週月曜日に配信予定）のページへいくことができます。



診療体制表はこちらのQRコードを読み込んでください。



ご連絡はまちづくり組合員活動支援部まで ☎ 0836-34-2510